

資料1 リスクアセスメント研修会概要（第二回）

主催：PL委員会 / 製品安全分科会

開催日：平成18年 冬 土曜日の午前・午後（各4時間）

講師：コンサルタント会社の法令及びリスクアセスメント専門家2名

目的：工作機械のリスクアセスメントのやり方、リスクの程度や頻度など具体的な判断の仕方等を習得すること。前回講習会受講者のレベルアップ。

内容：午前グループ

機械・システムの事故にかかる賠償責任法理の解説

ISO12100、ISO14121に沿った機械設備のリスクアセスメント・安全化についての自社技術基準を踏まえた解説

国際安全規格の体系と当社の対応、CEマーキング関連規制、ISO12100およびISO14121に基づくリスクアセスメントの実際等の解説

リスクアセスメントの実習課題は「汎用工作機械の起動時」など3題。

午後グループ（前回参加済みのレベルアップ対象者向け）

PL法施行10年に見る製品関連事故の流れ及びPL関連事故事例・判例およびリコール事例の紹介と解説

事故事例等から見える企業の対応上の課題

安全確保技術（安全とハード・ソフト・ヒューマンエラー、フェールセーフ化ガイドライン等）の解説

回転ドアについての安全対策に関する演習 1題

講義と実習を各2時間程度実施

対象者：機械設計者、電気設計者他の機械安全関連技術者

参加者：延べ250名

参加者所属：設計部門、電気設計部門、営業技術部門、開発部門、品質保証部門、試作部門、技術管理部門他、および、関係会社の設計者



研修会の様子（講義と実習）



資料2 安全設計の作業手順フロー

安全設計の手順

